

復活節第7週 主日礼拝

2022年5月29日

第一礼拝 (午前8:00～) 第二礼拝 (午前10:30～)

前奏	(新聖歌146)		
招きのことば	『へブル人への手紙』11章11-13, 17-19節	司会者	
開会の賛美	新聖歌22「御神の愛をば」	—	同
使徒信条		—	同
代表祈祷		司会者	
聖書朗読	『創世記』22章1-18節 (旧約pp.34-35)	司会者	
黙想	(3分間の換気を行います)	—	同
説教	「 試練は完成 」	近伸之牧師	
感謝の献金	新聖歌146「昔主イエスの」	—	同
諸報告		司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	—	同
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-4)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 集会：沼田佐代子姉	音響：近ゆかり姉	献金カゴ：有志
教会学校	5/29[佐藤兄] 6/5[初子姉] 6/12[猪爪姉] 6/19[近牧師] 6/26[麻美姉]		
ときわ第二礼拝	司会・説教：スクリーン投影 記録：	機器操作：有志	献金奉仕：猪爪和美姉
かやま第二礼拝	司会：近伸之牧師 集会：渡邊智子姉	音響：近ゆかり姉 山岸あけみ姉	献金カゴ：倉島幹夫兄

今週の暗唱聖句

あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていただきます。
(『コリント人への手紙 第一』10章13節)

一年間で聖書通読

14 / 52	5/30 (月)	モーセの律法	『出エジプト記』1~4章
	5/31 (火)	歴史書	『サムエル記 第一』16~20章
	6/1 (水)	詩篇	『詩篇』39~41篇
	6/2 (木)	知恵文学	『ヨブ記』27~28章
	6/3 (金)	預言書	『エレミヤ書』7~11章
	6/4 (土)	福音書	『マルコの福音書』7~8章
6/5 (日)	手紙	『コリント人への手紙 第一』11~12章	

個人・団体からの来信 [5/17(火)~23(月)]

2022年5月29日

「ライフ・ラインDAY&ラリー」案内[6月12日(日)14:00よりオンライン開催] / 「ライフ・ライン新潟懇親会」案内[7月4日(月)13:00~14:30オンライン開催] 【教団より訃報：支援教師の小林和夫師夫人、小林良子姉妹が5月2日(月)に召天されました。】

諸集会の報告

[5/18(水)~23(月)]	5/22(日)	教会学校	幼児男子1 幼児女子1	小学男子1 小学女子3	中学男子— 中学女子—	成人男性— 成人女性—
5/18(水)	新潟山形僚禱会	男1女3 男2女4	5/22(日)各礼拝参加者数			
5/19(木)			第一礼拝		男3女5	
※月に一回、読書会を開催			ときわ第二礼拝		男4女4 男児2 女児4	
[5/20(金)のしゃべり場タビタは全校労作に伴い休業]			かやま第二礼拝		男2女6	
5/21(土)	こころテラス	男—女8(求1)	男性合計8 女性合計14			
※月に一回、書道教室を開催。			※5/25(水)と5/26(木)に救禱会、5/27(金)にしゃべり場タビタを開催			

諸集会のご案内

※月に一回、書道教室を開催			
バルナバ祈祷会	6/1(水)午後7:30	かやま会堂にて	バルナバ祈祷リストを使います
	6/2(木)午前10:00	ときわ会堂にて	
読書会	6/3(金)午前10:00	※岩波明著『発達障害』を使います。(冊数余裕あり)	
しゃべり場タビタ	6/3(金)午後1:30	小山千春姉宅	報告担当：小山千春姉
※月に一回、こころテラスを開催			
6/5(日) 聖霊降臨節第1週 (ペンテコステ) 教団の国外宣教デー			
第一礼拝	司会：近伸之牧師	音響：片山勝三兄	献金カゴ：有志
午前8:00~	集会：有 志		
教会学校	午前9:30~		
ときわ第二	司会：近伸之牧師	機器操作：有志	献金奉仕：猪爪和美姉
午前10:30~	記録：	礼拝奉仕者祈り会：渡邊姉	
かやま第二	司会・説教：スクリーン投影	機器操作：山岸あけみ姉	献金カゴ：長谷川睦子姉
午前10:30~	集会：渡邊智子姉		
主日の予定	新聖歌(賛美曲ほか)：121, 46, 137, 62, 59-7 定例役員会 14:00~		

報告

1. 礼拝の感謝
主日礼拝の恵みを感謝します。各自が受け取ったみことばの恵みを心に刻みつけ、新たな一週間を歩みましょう。13:30よりかやま会堂において、会堂建設準備委員会を行います。お祈りをお願いいたします。
2. 今月の活動報告
5月20日(金)敬和学園高校の労作が行われました。高校から引率教師を含む6名が来られ、当教会から10名が作業に協力し、かやま会堂、ときわ会堂の清掃を行いました。
5月21日(土)にはこころテラスを行い、求道者として石木公さんが参加してくださいました。
5月22日(日)の礼拝後に、新会堂台所についての分科会を持ちました。大人12名、小人6名が参加し、2時間半程度話し合うことができました。感謝いたします。
- 3.

『使徒信条』(新聖歌p.826)

われ 天地の 作り主、全能の 父なる 神を 信ず。我はその ひとり子、我らの 主、イエス・キリストを 信ず。主は 聖霊によりて やどり、処女 マリヤより 生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに 苦しみを 受け、十字架につけられ、死にて 葬られ、陰府に くだり、三日目に 死人のうちより よみがえり、天に 昇り、全能の 父なる 神の 右に 座したまえり。かしこより 来たりて、生ける 者と 死にたる 者とを 審きたまわん。我は 聖霊を 信ず。聖なる 公同の 教会、聖徒の 交わり、罪の 赦し、身体の よみがえり、永遠の 命を 信ず。アーメン

『創世記』22章1～18節 (旧約聖書pp.34-35)

1これらの出来事の後、神がアブラハムを試練にあわせられた。神が彼に「アブラハムよ」と呼びかけられると、彼は「はい、ここにおります」と答えた。2神は仰せられた。「あなたの子、あなたが愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そして、わたしがあなたに告げる一つの山の上で、彼を全焼のささげ物として 献げなさい。」3翌朝早く、アブラハムはろばに鞍をつけ、二人の若い者と一しょに息子イサクを連れて行った。アブラハムは全焼のささげ物のための薪を割った。こうして彼は、神がお告げになった場所へ向かって行った。4三日目に、アブラハムが目を上げると、遠くの方にその場所が見えた。5それで、アブラハムは若い者たちに、「おまえたちは、ろばと一緒に、ここに 残っていなさい。私と息子はあそこに行き、礼拝をして、おまえたちのところに 戻って来る」と言った。

6アブラハムは全焼のささげ物のための薪を取り、それを息子イサクに背負わせ、火と刃物を手に取った。二人は一緒に進んで行った。7イサクは父アブラハムに話しかけて言った。「お父さん。」彼は「何だ。わが子よ」と答えた。イサクは尋ねた。「火と薪はありますが、全焼のささげ物にする羊は、どこにいるのですか。」8アブラハムは答えた。「わが子よ、神ご自身が、全焼のささげ物の羊を備えてくださるのだ。」こうして二人は一緒に進んで行った。

教会目標 **ただ一つのことに向かって走る**

「ただ一つのこと、すなわち、うしろのものを忘れ、前のものに向かって身を伸ばし、キリスト・イエスにあって神が上に召してくださるという、その賞をいただくために、目標を自指して走っているのです」(『ピリピ人への手紙』3章13、14節)

9神がアブラハムにお告げになった場所に彼らが着いたとき、アブラハムは、そこに祭壇を築いて薪を並べた。そして息子イサクを縛り、彼を祭壇の上の薪の上に載せた。10アブラハムは手を伸ばして刃物を取り、息子を屠ろうとした。11そのとき、【主】の使いが天から彼に呼びかけられた。「アブラハム、アブラハム。」彼は答えた。「はい、ここにおります。」12御使いは言われた。「その子に手を下してはならない。その子に何もしてはならない。今わたしは、あなたが神を恐れていることがよく分かった。あなたは、自分の子、自分のひとり子ささえ惜しむことがなかった。」13アブラハムが目を上げて見ると、見よ、一匹の雄羊が角を藪に引っかけていた。アブラハムは行って、その雄羊を取り、それを自分の息子の代わりに、全焼のささげ物として 献げた。14アブラハムは、その場所の名をアドナイ・イルエと呼んだ。今日も、「【主】の山には備えがある」と言われている。

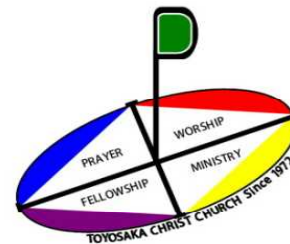
15【主】の使いは再び天からアブラハムを呼んで、16こう言われた。「わたしは自分にかけて誓う——【主】のことば——。あなたがこれを行い、自分の子、自分のひとり子を惜しまなかつたので、17確かにわたしは、あなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、空の星、海辺の砂のように大いに増やす。あなたの子孫は敵の門を勝ち取る。18あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。あなたが、わたしの声に聞き従ったからである。」

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
★24時間テレホンサービス『でんわ世の光』025(272)3592

6/4(土)「たましいに寄り添う~ホスピスチャプレンの祈り・3(最終回)」

淀川キリスト教病院チャプレン 藤井理恵さん/お話し:堀 肇牧師

ホスピスのチャプレンを30年以上務め、350人以上の終末期患者とその家族に寄り添ってきた藤井さんは、その経験をもとに、各地での講演や執筆活動を行っています。前回に引き続き、藤井さんの著書からスピリチュアルケア(たましいのケア)について話していただき、また、患者さんを抱えるご家族に対してのアドバイスなども伺います。



日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)
かやま会堂 950-3322 新潟市北区嘉山3-11-15
TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155
ときわ会堂 950-3321 新潟市北区葛塚3228-3
電子メール info@toyosakakyokai.net
ライブ中継 http://www.toyosakakyokai.sblo.jp